

## 評価委員会議事録

### 第63回大阪矯正管区教誨師研修会

1 日 時 平成27年11月19日(木) 17時30分から16まで

2 場 所 難波別院

3 出席者

大阪府教誨師会会長	松浦寛法
大阪府教誨師会副会長	前阪良憲
大阪府教誨師会副会長	時久忠夫
大阪府教誨師会事務局長	岩崎慶昭
大阪矯正管区教誨師連盟事務局	

4 評価方法

研修会当日の出席者にアンケート用紙を配布し、125名分を回収、その回答をもとに大会を研修した。

5 アンケート内容及び評価結果(要旨)

(1) 研修会の内容について

117名が研修内容が適切であった旨回答しており、新たな試みであった鼎談も概ね好評であった。

ア 鼎談となって、より深い内容が分かって良かった。

イ 実に厚みのある体験をうかがった。

ウ 明るい本年度で鼎談の研修会は初めての経験でした。

エ シンポジウムという形でサブテーマを皆で深めることができた。

ゲストの野田氏も良い人選であった。

(2) 研修会の成果について

108名が研修成果を肯定的に捉えており、成果が認められた。

ア 「出遭いによって輝く。」という現場、現実の話が感動的であり、今後の参考になった。

イ 自分の教誨での入所者との出遭いをいつも感謝していますが、今回は同時にその在り方について考えさせられ、良い勉強になりました。

ウ 加害者と被害者の関係、非常に困難な問題を提起していただいた。

エ 出遭いということの重要性を認識したと同時に、信頼関係をどう築くかという課題を持った。

(3) 研修会の課題・改善すべきと思われる点について

実施体制や今後研修で取り上げたい内容に等について、様々な意見が出た。

ア 会場が少し小さい。

イ 講師の方と直接話せる場がほしかった。

ウ 今回の内容も良かったが、教誨の活動外のことも多かったので、教誨活動の中で向上していける道を示していただける研修も期待する。

エ 被害者と加害者の和解について、もう少し深めたい。

オ 「希望へ！」は少年には分かりやすいが、年齢を問わず「希望」となると、何を持って希望、幸せ、更生というのかが問われた。

カ 再犯しないための方法論を研修する会もあってほしい。

(4) 研修会全体の意見及び感想等

ア 鼎談の皆さんが三者三様で、楽しく勉強させていただいた。

イ 非常に良かった。実体験に基づくお話は理解しやすい。

ウ 鼎談形式によるシンポジウムの取り入れが良かった。

エ 研修形態が大変良かった。加害者の更生と地域の問題は、今後の課題として深めていきたい。

オ 発表者の宗派によって考え方が違い、考えさせられることが多くあった。

6 研修の成果

サブテーマに沿った講師や教誨師をシンポジストとして選定し、鼎談の形式をとったことで、宗教的な立場に立ちつつも、リアルな体験談への理解を一層深めることができ、参加者全員で共有できた。アンケート結果からも、参加教誨師にとっても刺激のある研修内容であったことが認められた。現在の社会復帰支援上の課題の理解や教誨師として今後取り組むべき問題の発見にも繋がった。以上のことから、研修会として大きな成果が認められる。